

市街地循環バス「ら・くるっと」
前回会議における質疑に対する回答

資料3

| 番号 | 質 疑 | 回 答 |
|----|---|---|
| 1 | 運動公園口停留所から市民体育館までは結構距離があるので、路線を延長したほうが利用しやすくなるのではないか。 | 利用者の多くが自動車、また中学生などは自転車を利用しており、通り抜けできず周回時間が長くなるため運行は難しい。 |
| 2 | 外周りルート、内周りルートの呼び方は少しわかりにくいのではないか。 | 現在検討中であるが、いい名称があれば教えてほしい。 |
| 3 | 新見公立大学の事務局前駐車場まで路線を延長したほうがよいのではないか。 | 通り抜けできないため、新見公立大学の事務局前駐車場で転回すると周回時間が長くなる点、バスが北進する場合大学入口から市道への切り返しが鋭角になるため運行が難しい。 【運行事業者である備北バス（株）とは協議済】 また、新見公立大学・新見自動車教習所が協定を結んでおり、新見自動車教習所が無料バス（29人乗）を新見駅から大学事務局入口まで1日4便運行している。 |
| 4 | 正田広瀬地域、運動公園口停留所、社協停留所などを回る必要があるのか。 | 正田広瀬地域については、路線上にある上江洲医院の利用者が見込まれること、防災公園停留所がバスの休憩地点となっているため、運行口はないと考える。 宮地町上停留所から運動公園口停留所までの区間は、以前から要望があった地域であり、人口（令和2年国勢調査）は775人で現在の都市計画区域の利用率から積算すると年間約2,500人の利用が見込まれる。 新見市社会福祉協議会では各種相談業務を実施しており、一定数の利用者がいるため、公共施設と同じ扱いで経由することとした。 |
| 5 | 新見駅を中心として、北周りルート・南周りルートで分けたほうがいいのではないか。乗り換えがとのことだがそもそも運賃が安いので問題ないのでないか。 | 北周りルート・南周りルートについては、別紙資料のとおり。運賃については、今後、運賃協議会で決定することとなる。 |